



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ、わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31:3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- ホームページ：<http://eli.holy.jp> ●メール：[eternalloveisrael@gmail.com](mailto:eternalloveisrael@gmail.com)
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル

代表：宮本 純子

## ☆私の在日ユダヤ人伝道

宮本 純子



また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。(エペソ 1:19)

ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

愛するみなさま。いつもお祈りと尊い献金で支えてくださり、心から感謝致します。

セカンドステージが始まってようやく在日ユダヤ人伝道の軌道が見え始めてきました。

私のユダヤ人伝道の一番の基本は、祈りです。「神様、どうかユダヤ人と合わせてください。」と、お祈りすると必ず神様がユダヤ人と出会わせてくださいます。

今年1月の国際ホロコースト記念日には、日本ユダヤ教団にて「Who will Write Our History」というワルシャワゲットーの記録映画をユダヤ人たちと一緒に鑑賞しました。ホロコーストの悲しい歴史と向き合う時、もしも過酷な状況の中に置かれた時に、どのように生きていくのか。私は、未来への希望の光を人々に与えられるような生き方をしたいと思いました。2月も「ハンナのかばん」というホロコーストの映画鑑賞をしました。ホロコーストや十字軍などキリストの名においてユダヤ人たちを迫害し、人としての尊厳さえ認めてこなかったという事実を、ユダヤ人は決して忘れません。現在でも多くのユダヤ人は「キリスト」「クリスチャン」「十字架」と聞くだけで拒みます。ユダヤ人伝道の前提には、こうした歴史の背景を知る必要があります。私たちクリスチャンは、ユダヤ人が受けてきた心の傷を理解し、今でも深く残っている心の傷が癒されるように祈り、反ユダヤ主義を悔い改めることがとても大切です。

3月、イスラエルを愛する方々と在日イスラエル人たちが一緒に集まってお花見をしました。イスラエルの特別なワインやお菓子を頂きました。ユダヤ人との良き出会いと楽しい時を過ごせたことを神様に感謝します！



4月、過越しの祭りの時は、過越しの祭りの食事(セデル)を大勢のユダヤ人と一緒にしました。私は、ハガダーを拙いヘブライ語で読ませて頂きました。あまりにたどたどしく、一生懸命に読む姿に会場から拍手が湧いて恥ずかしかったです。「どうして来たの?」と、聞かれるたびに、「私は、クリスチャンだからです。」と、答えました。伝道の機会が与えられました。神様に心から感謝です。東京には、イスラエルレストランがたくさんありますので、一軒一軒のお店をまわり、ユダヤ人と出会います。そして、日本にはイスラエルのハイテクIT企業やバイオテクノロジー企業、武田テバなどの医療企業、ミカエルネグリンやサボンなどのお店が多く進出しています。

アインハロッド養蜂場のイスラエル産ハチミツや、イスラエル産オレンジ「オアくん」やスウィティーなど、日本で見つけると嬉しさが倍増します。イスラエルの企業やお店、商品などを見つけたら、ぜひ情報をお寄せください。また、お近くにユダヤ人の方がおられましたら、ぜひお知らせください。よろしく願い致します。日本においてもユダヤ人伝道は出来ます！神様がユダヤ人と出会わせてくださり、福音をお伝えする機会を与えてくださいます！日本でユダヤ人が救われるようにお祈りください。



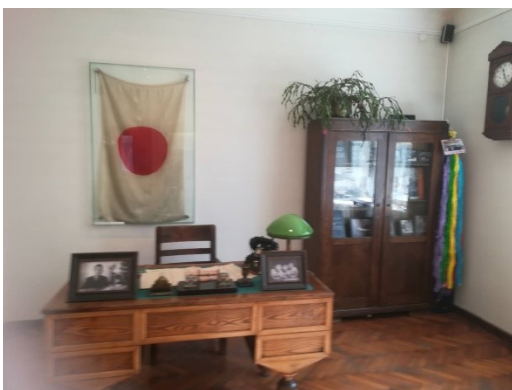
4月初めに、トランプ大統領のゴラン高原におけるイスラエルの主権承認表明で騒がれている中、エルサレムに行って来ました。予想に反してエルサレムは巡礼者、観光客で一杯でした。聖地エルサレムに対する熱い思いの人々で溢れているように思われました。懐かしい嘆きの壁で祈りを捧げ、一週間の滞在を終えてリニアのカウナスに向かいました。



(写真: 在カウナス日本領事館 現在は記念館)

一昨年の夏、岐阜県八百津町の杉原千畝記念館に行ってから、政府の命令に背いても人道的な決断を貫いた杉原氏の足跡をもっと訪れてみたいと願っていました。それが今回のエルサレム訪問の後に実現できました。

カウナスの杉原千畝記念館はわかりづらい場所にあり、少し道に迷いましたが、グーグルマップを利用してどうにかたどり着きました。着いたのはよいのですが、その日は土曜日で休館日でした。仕方なく記念館の外観の写真を撮り、ガラス越しに中を見たりしていました。するとドアが開いて、係員の方が中に招き入れてくれました。本当に神様に感謝しました。



(写真: 杉原千畝がビザを発給した執務室の机)

大きな日の丸が執務機の背後に掲げられている部屋で、迫り来るナチスの手から救うために、寝食を忘れて命のビザを書き続けた杉原氏のユダヤ人の命に対する愛を感じました。続けてカウナス鉄道駅に行きました。命のビザ発給から75周年の2015年に、杉原氏の肖像と記録が刻まれたプレートがカウナス鉄道駅とホテルメトロポリスに掲げられていたからです。現在の駅舎は第二次世界大戦後に建てられたものだそうですが、プラットホームの方に目をやると、カウナス退去の日

にベルリンに向かう列車が出発する寸前までビザを書き続けていたと言われている杉原氏のことがしのばれました。

今、再び反ユダヤ主義の事件が起きています。これから世界がどの様に変っていくのかわかりません。しかし、私は神の選びの民の側に立つ者でありたいと思います。

「兄弟が不幸に見舞われる日に お前は眺めていてはならない。…」

その災いの日に 苦しみを眺めていてはならない。…」

オバデヤ書 12、13 節 新共同訳



(命のビザ)



今年(2019年)は、6月9日の日没からシャブオットのお祭りが始まります。七週祭、シャブオットは、過越しの祭りつまり初穂の祭、ニサンの月の14日から7週間を経た翌日、すなわち50日目を祝う祝祭日です。これを「七週祭」、「五旬節」、「ペンテコステ」といいます。ヘブライ語で一週間のことを「シャブア」と言い、複数形で「シャブオット」となります。このお祭りは、収穫のお祭りで、一年間にとれた収穫のものを全て神様に感謝します。過越しの祭り、つまり初穂の祭から50日目に、ユダヤ人たちは、エルサレムへの2回目の巡礼をします。ユダヤ人たちがエルサレムの神殿に巡礼に来るのは、年に3回です。それが、「過越しの祭り」と「シャブオット七週祭」と「仮庵の祭り」の時です。五旬節も歴史的な意味があります。農耕のカレンダーによりますと、最初の刈り入れ時です。またイスラエルでは、五旬節の時に神がシナイ山においてモーセにトーラーであるモーセ五書、律法を与えて下さったと信じられています。五旬節は過越しの50日後に来ますが、聖書において「50」という数は特別な意味を持っています。聖書においては「50」に関わることが二つあります。その一つは、50年目のヨベルの年です。

### ■50の数字とヨベルの年・レビ記25章

聖書において「7」という数は聖なる数であり、完全数です。また安息日と関わりがあります。創世記1章で、神様が天地創造をされた時に6日間は創造され、7日目にその御業を休まれたからです。レビ記25章にはヨベルの年のことが記されています。イスラエルにおいて、7年目はいつも安息の年です。聖書を読むと、7年目というのはいかなる植物も植えてはならない年だとお分かりになると思います。土地は休ませなければなりません。ですので、7年を7回かけて、その翌年が50年目のヨベルの年ということになります。これは8日目と同じようなものです。聖書において8日目というのは、新しい日を表わします。それは完全に新しい始まりを意味します。そしてイスラエルにおいて50年目には、全ての土地は元の所有者に返されます。レビ25:13~16節にありますように、もし誰かが土地を持っていて、それを売ったとしても、50年目にそれは元の持ち主に返されました。また、50年目には全てのヘブル人つまりユダヤ人の奴隷たちは自由にされました。つまり、50年目は自由になる解放の年なのです。

ルカ4:16~19で、イエス様がナザレで宣教を始められた時、シナゴークでイザヤ書61章を読まれ、イエス様は「主の恵みの年を告げ知らせるために」と言われました。主の恵みの年というのは、ヨベルの年のことです。イエス様はここで、ヨベルの年の真の意味を知らせてくださり、そのことを成就してくださいました。ヨベルの年というのは、解放される年です。それはものごとが元の持ち主に返される年です。

### ■五旬節

使徒2:1~4に書かれているように、新約聖書において五旬節の日は、聖霊が注がれた日ペンテコステです。

過越し祭の時にイエス様が十字架につけられてから50日後のことです。聖霊が注がれて、私たちは多くの収穫を持ちました。男性も女性も救われました。また、使徒たちが人々を癒し、悪霊につかれた人々を解放しました。

エゼキエル36:26~27には、回復された神の民イスラエルの内面の回心を示しています。聖霊が心に注がれることによってこの御言葉は成就しました。新しい心と新しい霊を授けられ、石の堅い心を取り除き、肉のやわらかい心に与えられるのです。最初の五旬節には、神様はシナイ山において人々に律法、十戒を与えられました。それは石板に書かれたものでした。そして新約聖書の五旬節においては、聖霊を授けられ、神様はご自身の律法を人の心に書かれたのです。そして、人を内側から変えられたのです。過越しの祭りが「救いの祭り」であるように、このシャブオット、五旬節、ペンテコステの祭りは、捕らわれ人を解放し、サタンが盗んでいたものを神様がご自分の元に取り戻される「解放の祭り」です。そして、収穫という新しい命があたえられる祭りです。人々の救いは、救われる魂の収穫です。

マタイ9:37~38「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主にも、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」私たちは、多くの収穫を得るために、神様に感謝をささげることを忘れずに、感謝しつつ、神様のためにお仕えし、福音の種をこれからも蒔いて、多くの魂を収穫していきたいと思っております。

## ☆祈りのリクエスト☆



「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)

- 5月5、6日、イスラエルにガザからミサイルが700発以上の砲撃がありました。イスラエルにミサイル砲撃が起こらないようにお祈りください。
- 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心だけが成ります様に。
- トランプ大統領、ネタニヤフ首相はじめ、世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を平和に進めて行く事が出来ます様に。
- イスラエルと日本の政治・文化、あらゆる面で交流が祝福されますように。
- イスラエルに対するあらゆる攻撃、又、テロ等が起こらない様にお守りください。
- イスラエルの周辺諸国との関係のために。シリア、ヨルダン、エジプト、イラン、イラク、トルコ、レバノンなどの各国との関係を神様が最善に導いてくださいますように。
- パレスチナ問題のために。神様が最善に導いてくださいますように。
- フランス、イギリス等は、反ユダヤ主義の動きが強まっていますが、正しい聖書理解の上に立ち、ヨーロッパから反ユダヤ主義がなくなります様に。又、国連とEUが真に公正、公平な機関になります様に。
- 世界中に住んでいるユダヤ人に福音が伝えられ、全てのユダヤ人がイエス様を信じて救われます様に。
- イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルがリバイバルされます様に。又、日本がリバイバル、世界中がリバイバルされて、神様の御心がこの地に成ります様に。
- 在日ユダヤ人、又、日本を訪問し滞在するユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われます様に。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ます様に用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者達が起こされます様に。
- 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

## ☆2019年夏のユダヤの祭り☆



- 6月9日 七週の祭り(ハグ・ハ・シャブオット)  
過越しの祭りから七週目にあたり、最初の大麥の収穫を祝ったことに由来する収穫祭。ペンテコステの祭り。又、モーセがトーラーを授かった日とされる。
- 8月11日 神殿崩壊の日(ティシュア・ヴェ・アブ)  
エルサレムの神殿崩壊を嘆き、嘆きの壁で祈り、9日間の断食をする。

## ☆感謝☆

●みどり野キリスト教会 Jesus Family のチャーチスクールで月1回ですが、中高生たちと「イスラエル講座」の時を持たせて頂いています。本当にありがとうございます。この機会が与えられて改めて昔の資料や新しい資料を読み、イスラエル建国から71年間で急激に変化していく様子に、聖書の御言葉の成就を見ます。

イスラエルの今後の歩みも、今も生きて働いておられる神様がご計画通りに聖書の預言を成就されると信じます。

2019年5月発行